

グランドオープン しました!


グランドオープン
記念企画!

明治36年4月に、市民の寄付により日本で2番目に誕生した京都市動物園。
平成21年11月に「動物園大好き市民会議」での議論を基に策定した、
共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき、開園しながら進めてきた整備が完了し、
平成27年11月8日にグランドオープンの日を迎えることができました。
整備中は来園者の皆様に何かと御不便をお掛けしましたが、
今後は、整備したゾーンを活用した「近くて楽しい動物園」を実感していただける様々なイベントを開催していきます。
新しい魅力と見どころいっぱいの京都市動物園に、是非足をお運びください。



雨の日 プレゼント!

第一弾



雨が降ったらちょっと憂鬱(T_T)
そんな日が少しステキな日になればいいな〜と雨が降った日に来園されたお客様に、もれなくカレンダーをプレゼントします♪
3箇月ごとにデザインが変わるので集めてみてね〜

第一弾
平成28年1月~3月のカレンダー
配布期間
平成27年12月~平成28年2月まで

夜の『図書館カフェ DE トーク』

昨年の夏オープンした図書館カフェでお茶を飲みながら、園の職員と一緒にいろいろ話しませんか?

今回のテーマは...

【生まれ変わった動物園が目指すもの】

日時：1月24日(日)
17:00~18:00

定員：約20名(先着)

参加費：無料(カフェでの飲み物代は有料)

申込方法など詳しくは動物園のホームページを御覧ください



できごと

新しい仲間

☆天王寺動物園からジャガーのオス「葉月 旭」がやってきました! まだ1歳です。
メスのミワと仲良くしてね♪



新米です♪

☆平成27年5月26日、京都の森にある棚田で初めての田植えを、錦林小学校2年生の児童と京都精華大学の学生と一緒に行いました。
9月15日には、順調に育った稲を刈り取りました!



『キヌヒカリ32kg
収穫です!』



安らかに

★前号に掲載したフサオマキザルの赤ちゃんは、平成27年9月15日衰弱のため死亡しました。



寄付のお知らせ

ありがとうございました

並木グループ様から桜並木の整備費を、国際ゾント京都Ⅱクラブ様からベビーカー5台をいただきました。



グランド

オープン

～リニューアルした京都市動物園の今・昔～

正面エントランス 平成27年10月 完成

旧  レンガ造りのシックな外観

新  カフェを併設した図書館と右手にはショップ、2Fはレストラン、そして学習施設も!

入園しなくても利用可能に!

もうじゅうワールド 平成24年4月 完成

旧  檻の前には人止め柵があり、動物との距離があった動物舎

新  動物との間に二重網や強化ガラスを採用、隣近に観察できます。

京都の森 平成27年9月 完成

旧  カモシカ舎 大水禽舎

新  里山をイメージし、京都に生息する動物を中心に展示

ゾウ舎 平成27年6月 完成

旧  狭いグラウンドと築91年の老朽化した動物舎

新  群れ飼育可能なスペースに、複数頭入れるプールも完備!

アフリカの草原 平成25年4月 完成

旧  キリン舎 シマウマ舎

新  アフリカに生息する動物たちを集めました。

おとぎの国 平成23年7月 完成

旧  狭い空間で限られた時間の中でのふれあいコーナー

新  ヤギやヒツジたちと自由にふれあいができる場に!

ゴリラのおうち 平成26年4月 完成

旧  遊戯場の一部とサル舎前の広場が...

新  ゴリラのおうちに大変身!

森の木々をイメージして組まれた鉄柱の上を自由に動くゴリラの姿が大迫力!

熱帯動物館 平成25年4月 完成


旧  狭いイメージだった爬虫類館

新  ひかり・みず・みどりをテーマに明るくリニューアル!

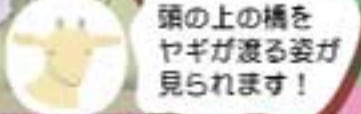
生息地と同じようにキリンとシマウマが共存できる空間が実現!



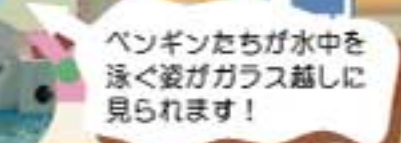
おとぎの国と正面エントランスをつなぐ遊歩道上からは、背の高いキリンたちを観察できるようになりました!



頭の上の橋をヤギが渡る姿が見られます!



ペンギンたちが水中を泳ぐ姿がガラス越しに見られます!



『近くて楽しい動物園』をコンセプトとして新たな都市型動物園を目指し、平成21年から始まった整備を終えることができ、無事平成27年11月8日にグランドオープンの日を迎えることができました。動物園の今・昔を交えながら、新たに生まれ変わった施設の紹介をします。





『レッサースローロリス』



賀

2016年

正

さる
申年



『ショウガラゴ』

新年あけましておめでとうございます！今年もよろしくお願ひいたします。
今年申（さる）年ですね。写真を見て、「えっ、サル？」と思われた方もいらっしゃるでしょう。あまりサルっぽくないですが、熱帯動物館にいるレッサースローロリスとショウガラゴも立派なサルの仲間なのです！

レッサースローロリスは、小さな耳と短い尻尾、ゆっくりとした動きが特徴です。メスのリンはちょっぴり神経質、オスのノイはのんびり屋でとっても食いしん坊です。

対照的に、ショウガラゴは大きな耳に長い尻尾、身軽な動きが特徴です。メスのママン、ジヨリ、ミミ、オスのビケの4頭がいます。現在、年をとって白内障のママン以外の3頭が展示室にいます。写真のジヨリはママンの娘、最近仲間入りした新入りのミミを温かく受け入れてくれています。どちらも若いペアがいるので、申年の今年こそ、かわいい赤ちゃんの姿が見られることを期待しています！

是非今年サルらしくないサルたちにも注目してくださいね！

200スポット

85

長い間お世話になりました。

3月で定年退職する飼育員にスポットを当ててみました。



『20歳当時』

『佐藤元治』

私が飼育員として働き出した頃、外国の友好都市との動物交換が頻繁に行われていました。その中で一番思い出があるのは、レッサーパンダです。わんぱくでよく振り回されましたが、待望の赤ちゃんが生まれたときは何よりの喜びでした。また、毎年秋にアカゲザルの健康診断を行っていますが、私が担当していたときは今よりも頭数が多かったため、一頭ずつ捕獲しての作業が夕方までかかっていたのもいい思い出です。これまで色々な動物を担当してきましたが、オランウータンとゴリラを赤ちゃんから飼育できたのが一番の喜びです。

最後に市民の皆さんと動物たちに感謝しています。ありがとうございました。



『濱崎 勤』

卒業した高校の先生から薦められ、昭和50年に飼育員として働き始めて早40年が経ちました。

これまで担当した動物は、こども動物園の家畜たちからスタートし、ゴリラやチンパンジー以外ほとんどの動物を経験しました。その中でも印象に残っているのがホッキョクグマとゾウです。ホッキョクグマは、3回の出産を経験しましたがうまくいかず、自然繁殖の成功を目指し意気込んでいたのを今でも覚えています。美都(ミト)と友(トモ)というゾウを担当しましたが、友を21歳の若さで亡くしてしまったことが非常に悲しかったです。そんな辛いこともありましたが、この頃が至福の時だったように思います。

最後に一言、ありがとうございました！

定期購読を希望される方は、82円切手4枚（1年分）を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作
事業所の名称：京都市動物園
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町126
動物取扱業の種別：展示

登録番号：070051
登録年月日：平成19年5月22日
有効期間の末日：平成29年5月21日
動物取扱責任者氏名：岡橋 要

